



きらい★きくにし

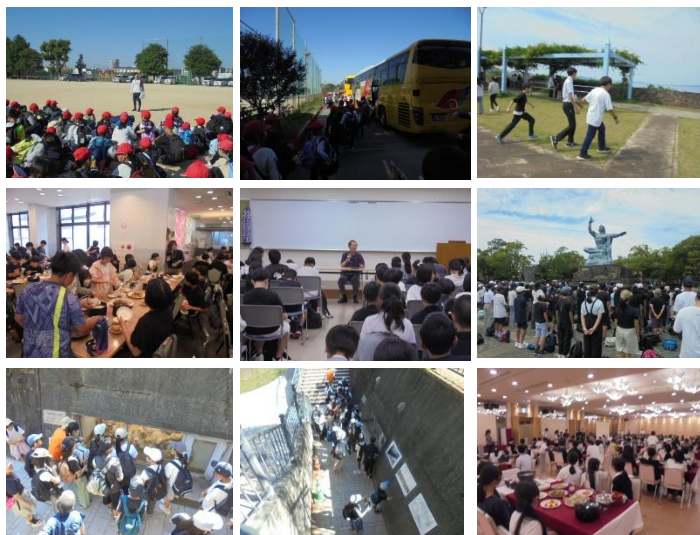
文責 校長 佐藤 正貴

行事を変更してみても・・・。

5年生の集団宿泊教室を5月に、6年生の修学旅行を6月に変更して実施しました。集団宿泊教室を年度当初に行うメリットは、高学年の学級・学年集団作りにつながるという点です。時間を守る事をはじめとする規律ある行動が、活動時間の確保に左右されます。自分だけの活動であれば問題ないのですが、周りの友達にも影響するとなると、自分自身の事を自分で管理していく力が必要になります。自分の言動が、周りに影響するという他者意識を持つことが、集団宿泊教室の大きなねらいでもあります。

対して、6年生の修学旅行の大きな目的は、集団の中での自分を意識しつつ、集団の主体性を育むことにあります。年度初めに、このような行事を位置付けたことで、子どもたちが今後、どのように変容していくのかということを楽しみにしています。その成果の一端が、11月に行われる運動会をとおして見る事ができることに期待しています。

集団宿泊教室も修学旅行も、子どもたちはとても楽しんでいました。



素敵な自主学習ノート

高学年になると、自主学習ノートに取り組む学校が多くなってきます。別に決まっている訳ではないのですが、何故か多くなってきます。そういう私も、担任時代は自主学習ノートを家庭学習の一環として取り入れていました。多くの学校で行われているということは、メリットが多いためだと考えられます。私見ではありますが、どんなメリットがあるかというと、①今日の学習を含め、これまでの振り返りをする事で学びの定着、習熟になる。②自分が苦手なこと、十分に分かっていないかもしれない事を補うことができ

る。③自分自身の興味関心があることを追求できる。

④自分で学習計画を立てて、内容を考えることができる。というような事だと思います。ただし、①～④

までを見ていただくと、自分自身の学ぶ意欲や、自己分析力がないと成立しないことが分かると思います。実は、その2つこそが、この自主学習ノートを進めるねらいです。学習とは、人にやらされるものではありません。学びたい、

分かりたい、できるようになりたい等、自己の内発によるものです。私たち教師の仕事は、子どもたちの内面に訴えかけることだと考えています。教師が日々子どもたちにかけている言葉が、全ての児童のやる気スイッチにつながるいいのですが・・・。子どもたちが取り組んだ**素敵な自学ノート**を紹介しながら、多くの子どもたちのやる気に繋げていきたいです。



そろえよう菊西！学習編



今年度は、これまでの「そろえよう菊西！」を見直し、「**新**そろえよう菊西！」なるものを作成しております。上記は、その中で学習に関するものを研究主任がまとめたものです。



【1年生の黙想】

揃える事を決めることは、割と短時間でできますが、揃えることを徹底することは、それはそれは時間がかかります。なぜ、そうするのかという意味説明？から始まり、繰り返しの連続で、少しずつ変化が見られるようになります。児童との根競べといったところです。

学校は、自分の将来が、豊かであると感じる将来であるために、学び続ける素地を育成する場所です。学校での学習規律を身に付けることは、自分自身の深い学びや、時と場に応じた対応力につながります。また、他者の学びの妨げないという人としての在り方につながる部分でもあります。行動・活動目的がはっきりとしている空間で、他者と過ごすためのマナーを身に付けることは、生きる上で必要です。